

会員の皆様、こんにちは。

本日は、国が発行する記念貨幣についてご寄稿いただきました。記事中の図表を見ていると、日本が歩んできた道の節目節目が思い出されます。見る人の年代によって感慨に違いはあるものの、美しい図柄には誰しもが心躍らせるのではないのでしょうか。また、日本の造幣技術の高さに思いを致し、誇らしい気持ちにもなってきます。来年の御代替わりや2020年東京オリパラにはどんな貨幣が発行されるのでしょうか。ご一読ください。

石田まさひろ政策研究会

日本の記念貨幣：空前の発行ラッシュ

■ 日本の歴史を象ってきた記念貨幣

日本の記念貨幣は、昭和39年の東京オリンピック開催を機に初めて発行され、以降、現在までに38テーマ177種の貨幣が発行されている。

記念貨幣は、国家の記念事業として発行するものであり、国を挙げてのプロジェクトや、国民を挙げてお祝いすべき出来事などがある場合に、そうした事柄を国家として記念する目的で発行されてきた。具体的には、これまで図表1のようなテーマで発行されている。日本の戦後の歴史は、記念貨幣という小さくも美しい金属板に象られてきたことが分かるだろう。

■ 空前の記念貨幣発行ラッシュ

これから数年についても、2020年東京オリンピック・パラリンピックや天皇の代替わりを控え、時代の大きな移り変わりを感じている方が多いのではないだろうか。政府もこうした国家の節目に当たって、これまでにない種類数の記念貨幣の発行を予定している。

これまでの記念貨幣の発行類型

(図表1)

<p>1. 皇室の御慶事に関するもの</p> <p>発行例 ① 天皇家下御即位 (平2) ② 皇太子殿下御成婚 (平5) ③ 天皇家下御在位20年 (平21) など</p>	<p>① </p> <p>② </p> <p>③ </p>
<p>2. 国際的な行事に関するもの</p> <p>発行例 ① 東京オリンピック大会 (昭39) ② 2005年日本国際博覧会 (平16) ③ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 (平28~) など</p>	<p>① </p> <p>② </p> <p>③ </p>
<p>3. 国家の主権・制度・機構に関するもの</p> <p>発行例 ① 裁判所制度100周年 (平2) ② 国際連合加盟50周年 (平18) ③ 地方自治法施行60周年 (平20~28) など</p>	<p>① </p> <p>② </p> <p>③ </p>
<p>4. 国家的プロジェクトに関するもの</p> <p>発行例 ① 青函トンネル開通 (昭63) ② 東日本大震災復興事業 (平27) ③ 新幹線鉄道開業50周年 (平26~28) など</p>	<p>① </p> <p>② </p> <p>③ </p>

■ 東京オリンピック・パラリンピック競技大会記念貨幣

2020年夏の東京オリパラ大会に向けては、シリーズ発行として、大会約2年前から4回に分けて37種類もの記念貨幣が発行される。貨幣の種類としては、金貨・銀貨・銅貨（500円・100円）と幅広いラインナップとなる予定であり、記念貨幣ファンから子どもたちまで、多くの国民から人気を呼びそうだ。今年11月に発行される第1弾については既に図柄が公表されており、額面を上回る価格で販売される「プレミアム型」の金貨・銀貨については、造幣局にて7月10日からハガキ・インターネットで販売申込を受付開始する。

記念貨幣の販売は毎回申し込み多数で抽選となるが、オリパラは通常以上に人気が出るだろう。記念貨幣ファンの筆者としても欲しい種類が手に入るかドキドキものだ。

なお、500円・100円銅貨については、金融機関において額面価格で引き換えられるので、手軽にオリパラ気分を盛り上げたい方にはこちらをお勧めする。500円・100円だけでも、各種競技や大会マスコット等を図柄として22種類発行されるので、コレクションしてみたいだろうか。

■ 「天皇陛下御在位30年」及び「皇太子殿下の御即位」に係る記念貨幣

政府では、「天皇陛下御在位30年」と「皇太子殿下の御即位」を記念して、それぞれ記念貨幣を発行することとしている（それぞれ、来年2月、10月に発行予定）。具体的な内容については現在検討中とのことだが、それぞれの記念貨幣が、国民にとって、平成という時代への思慕と新しい時代への希望を映すようなものとなるよう期待したい。

このほか、今年10月頃には、2018年が明治150年であることを記念する千円銀貨の発行も予定されている（販売申込受付開始は8月3日）。

これだけの発行ラッシュとなると、記念貨幣ファンである筆者としては財布が寂しくもなるが、この機会に、これまで関心なかった方にも是非記念貨幣を手にとってもらい、日本の歴史の1ページを刻むだろうこの数年間を特別な思い出として共有できれば幸いである。

著者: CC

2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会記念貨幣（第一次発行分）(図表2)

競技大会名 貨幣の種類	東京オリンピック競技大会			東京パラリンピック競技大会		
	一万円金貨幣	千円銀貨幣	百円クラッド貨幣	一万円金貨幣	千円銀貨幣	百円クラッド貨幣
図柄 (表面)	 流鏝馬と心技体	 水泳	 フェンシング	 柔道	 ボッチャ	
図柄 (裏面)	 東京2020オリンピック 競技大会エンブレム	 東京2020オリンピック 競技大会エンブレムと ソメイヨシノとイチゴの葉	 東京2020オリンピック 競技大会エンブレム	(第一次発行分では発行せず)		
額面価格	10,000円	1,000円	100円	1,000円	100円	
発行枚数	4万枚	10万枚	394.8万枚	10万枚	394.8万枚	
申込期間	平成30年7月10日～8月1日			平成30年7月10日～8月1日		
引換開始時期	-			-		
販売価格	120,000円	9,500円	-	9,500円	-	

※ 財務省公表資料より筆者作成
※ 一万円金貨及び千円銀貨の販売申込については、造幣局のウェブサイト (<https://www.mint.go.jp/>) をご確認ください。

Seki-shiN石心 石田まさひろ政策研究会メールマガジン vol.035

このメールは送信専用メールアドレスから配信されています。ご意見は info@masahiro-ishida.jp までお寄せください。

【配信停止・設定変更】本メールサービスの解除を希望する方は、石田まさひろ政策研究会までご連絡ください。

【配信元】石田まさひろ政策研究会 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-1-1

Copyright© Masahiro ISHIDA all Rights Reserved ---掲載記事の無断転載を禁じます---